



神戸市PTA協議会

平成28年度

校種別区別研修会 実施報告

忘れられない研修会

神戸市PTA協議会 会長 山原 真由美

私には忘れられない研修会があります。当時、我が子のできないところにばかりに目がいていた私は、その研修会で、我が子のがんばっていたことや成長していたことに気づかされ、私のもとにこの子がいてくれる幸せに改めて気づき、涙がとまりませんでした。その後の研修会でも、新たな視点や知っておきたい情報など、いろいろな学びを得ることができました。

子供たちは毎日、学校や園でいろいろなことを学んでいますが、私たち大人は、日々の暮らしの忙しさに流されて、「学ぶ」ということを忘れがちではないでしょうか？ 研修会はその「学び」を意識するよい機会だと思います。毎日走り続けている中で、少し立ち止まり、自分を見つめなおす時間はとても大切です。子育ての中でうまれる悩みや葛藤から、心がふっと軽くなったり、あふれる情報の中で正しいものを教えていただいたりと、研修会を通して、大人も成長していけると思います。

またその場には、多くの子育ての仲間がいます。子供たちを大切に思い、健やかな成長を願う仲間がいます。そんな中で、ともに学びあうことは、とても心強く、有意義な時間となることでしょう。

今年度も各校種・各区において、さまざまに工夫をこらした研修会が開催されました。報告書を読んでいると、このひとつひとつの報告書の中に、多くの方のかかわった姿がみえてくるようです。そしてこの中に誰かの忘れられない研修会がきっとあったのではないかと思います。

最後になりましたが、本年度の校種別区別研修会を開催するにあたり、ご尽力いただいたすべての関係者の皆様に心から感謝申し上げます。そして各校種、各区、各校、すべてのPTA活動が今後もより有意義で活発なものとなりますように祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

平成 29 年 3 月

神戸市PTA協議会

神戸市中央区東川崎町 1-3-2 神戸市総合教育センター内 (078) 360-3453

幼稚園PTA連合会（東灘・灘・兵庫地区）

神戸市立幼稚園PTA連合会 東灘・灘・兵庫区家庭教育支援事業

親子で遊ぼう「親子で楽しむうたあそび・おとあそび」

講師：さわむら しげはる はやし けいこ

（にこにこ楽団）

開催日時	平成 28 年 10 月 31 日（月）13：00～15：00
会 場	神戸市立東灘体育館
参加者	274 人（P・幼稚園）
配布物	案内チラシ 750 部
他助成金	なし

内 容 にこにこ楽団のさわむら氏は、子供たち（幼稚園や保育所の幼児や小学生など）を対象に、身近にある物で手軽に作れる楽器をユーモアたっぷりの語り口調で紹介しながら、子供向けのオリジナル曲やお馴染みの童謡と一緒に歌い、踊り、演奏されている。親子で歌をうたったり、体を動かしたりするとともに、わが子だけでなくいろいろな子供と触れ合う機会とする。

タライと紐で「コントラバス」、のこぎりをたたくと「テルミン」、櫛とビニール袋で「トランペット」等、身の回りのものを楽器に変身させ、にこにこ楽団のオリジナルソングと一緒に歌ったり、踊ったり、心も体もぼかぼかになる。

研修のねらい

- ・広い体育館で歌をうたったり、体を動かしたり、遊んだりしながら、親子の愛着関係を深め、自信を持って子育てができるようにする。
- ・他園の親子との触れ合いを通して、わが子の成長の姿を実感したり、安心感を持てることができるとともに、保護者同士で子育ての話をしながら、子育ての楽しさを味わう機会とする。

成果と課題

- ・会場全員参加の音楽会は、子供たちもお母さんも笑顔があふれていた。
- ・広い体育館で、歌をうたったり、体を動かしたり、遊んだりしながら、親子の愛着関係を深めるという PTA 研修としての狙いは達成することができた。
- ・親子での触れ合いから、最後には会場全員で歌ったり、踊ったりして他園の親子との関わりを持つことができた。

幼稚園PTA連合会（中央・長田・須磨地区）

みんなで遊ぼう「親子でエクササイズ」

講師：山本 智子
（エアロビクスインストラクター）

開催日時	平成 28 年 11 月 16 日（水）10：00～11：30
会 場	神戸市勤労会館 体育館
参 加 者	161 組、330 人程度（P・幼稚園）
配 布 物	案内チラシ各園 8 部
他助成金	なし

内 容	<ul style="list-style-type: none">・講師の山本智子氏は、子育てをしながらエアロビ楠のインストラクターとして活躍されている。昨年、マタニティヨガのインストラクターの資格も取得され、子供から大人、妊婦へと対象を広げ、幅広く活躍されている。子供たちが好きな音楽に合わせて存分に体を動かしながら、親子の触れ合いを十分に楽しめる機会とする。
-----	--

研修のねらい	<ul style="list-style-type: none">・親子で触れ合いながら、体を動かす楽しさや大勢の友達と一緒に遊ぶ楽しさを味わう。・子供のつぶやきや笑顔、遊びの様子を見ながら、保護者が子供の興味や関心を捉え、育ちを理解し、喜ぶ機会とする。・子育ての楽しさや、親の役割に気づき、子育てに意欲を持てるようにする。
--------	---

成果と課題	<ul style="list-style-type: none">・親子の触れ合いを楽しみながらストレッチをし、日頃固くなっている体をゆっくりとほぐしていった。アップテンポの曲に合わせてリズムカルに踊ったり、ヨガをしたりして、心も体ものびのびとリラックスすることができた。各親子だけでなく、皆で一緒にジャンケン遊びをする中で、保護者も本気になって楽しみ、大声で笑い合い、喜ぶ姿が見られた。・参加する前は、運動遊びにためらっていた保護者もあり、参加数が少ないことが懸念された。しかし実際に体験すると、「久しぶりに体を動かして楽しかった」「家でも子供と一緒にしたい」という声が聞かれた。終了後はどの親子も笑顔で朗らかに話しながら帰っていく姿が見られ、ほほえましかった。今日の様子や楽しさを各園でしっかりと広める工夫をし、今後も親子の触れ合いを存分に楽しめるような活動を取り入れていくことが大切である。
-------	--

幼稚園PTA連合会（北地区）

神戸市立幼稚園 PTA 連合会 北地区家庭教育支援事業

「子供のころとからだのおはなし」

講師：中谷 恭子

（兵庫県立光風病院 担当課長補佐）

開催日時	平成 28 年 10 月 28 日（金）10：00～11：45
会場	しあわせの村 研修館 ホール
参加者	114 人（P）
配布物	案内チラシ各園 10 部 当日資料 120 部
他助成金	なし

内 容

- ・保護者向けに講演会を実施する。
社会の状況や様々な家庭教育を背景に、育児不安を抱え、周りに支えてもらえる人もなく孤独な中で子育てをしている保護者もいる。幼児期はこれからの人生の基盤となる大切な時期である。子育てが楽しくできるように、幼児期をどのように過ごすことが大切であるのか、保護者としてどのようにかかわっていくのかなど、北地区の保護者が一堂に会して経験豊かな専門的な立場の方から講演を通して学ぶ。
- ・子供は人や物、自然等の環境と関わり様々な体験を通じて、しなやかに強くたくましく育てていきたい。子供は手伝いをして暮らしを支える家族の重要な一員だったが、生活スタイルが変わり生活の中で身に付けてきたものが得られなくなった。子育ては 18 年で 1 つの区切りが付く。チャンスは 18 年間。親から子供に贈るプレゼントは「自分の命、心を大切にすること」である。生活習慣を身に付け、多様な実体験をする。身体と心のバランスを意識し、保つことができるようにする。

研修のねらい

- ・講師の先生は臨床心理士として活躍されている。ある講演会では「その子らしさ」を生かすための子育てについて話をされ、多くの保護者に勇気と元気を与えたということである。ぜひ今回も専門的な立場からの話を聞き、幼児の心や体のこと、子育てにおける大切なこと等を学び、保護者が明るく前向きに子育てをしたり子育ての楽しさや我が子の成長の喜びを味わったりできるよう、子育て支援の機会としたい。

成果と課題

- ・保護者からの要望で、子育てに役立つ講演会が実践できてよかった。講師の先生は臨床心理士としての長年の経験から、様々な事例を通して話された。聞き手は具体的に子供の姿をイメージしながら聞くことができた。幼児期から児童期、そして思春期の問題へと話が発展していったが、その思春期の話が大変心に残ったようだ。日々の子育ては、目の前のことに追われるが、先を見通した子育てをしていこうという意欲につながった。今後も保護者の要望に応えていきたい。

幼稚園PTA連合会（垂水・西地区）

神戸市立幼稚園 PTA 連合会シンポジウム

（垂水・西地区家庭教育支援事業と兼ねる）

「家庭教育の大切さを見直し、積極的に役割を果たそう」

講師：寺見 陽子

（神戸松蔭女子学院大学 教授）

開催日時	平成 28 年 11 月 1 日（火）10：00～12：00
会場	神戸市西区民センター なでしこホール
参加者	300 人（P・地域・幼稚園）
配布物	案内チラシ 100 部
他助成金	幼 P 連

内 容	<p>シンポジウム</p> <ul style="list-style-type: none">・3名のシンポジストから、「目と目を合わせて“おはようございます”」「生まれ育った地での子育て」「我が家はみんなアウトドアが大好き！」というテーマで、それぞれの家庭での子育てについての実践を発表していただいた。・神戸松蔭女子学院大学 人間科学部 子供発達学科教授で、発達心理学、幼児教育、保育学、子育て支援などを専門としている寺見陽子先生をコーディネーターに迎え、シンポジストと意見交換をしたり、指導助言を受けたりした。
-----	---

研修のねらい	<ul style="list-style-type: none">・シンポジスト 3 名の方々の子育てについての実践発表を受けて、参会者が意見交換をする。・コーディネーターの指導助言を交えながら、家庭教育の果たす役割や子育ての大切さについて語り合う場とする。・参会者が、各単位 PTA に持ち帰り、心豊かな子供を育てるために、家庭、幼稚園、地域社会の連携を図り、具体的・実践的な取組を進める。
--------	---

成果と課題	<ul style="list-style-type: none">・シンポジスト 3 名の方々の子育ての取組の発表を受けて、コーディネーターの指導助言を交えながら、参会者が家庭教育の果たす役割や、子育ての大切さを確認し合う場となった。・コーディネーターから、あいさつなどの関わり、感情や目標の共有の重要性や、幼稚園と家庭と地域が共に子供を育て合う関係性の大切さについて、具体的に話していただいたことで、子育てに不安を感じている保護者一人一人がこれからの家庭教育の役割について希望をもって考えることができた。
-------	---

東灘区小学校PTA連合会

「eco実験パフォーマンスショー」

演奏・講師：らんま先生

eco実験パーフォーマー・環境カウンセラー

開催日時	平成28年12月11日(日) 11:00~12:10
会場	神戸市立魚崎小学校 アリーナ
参加者	519人(P)
配布物	案内文書・チラシ9,410部 当日資料300部(プログラム・他) アンケート300部(保護者のみ) チケット500部
他助成金	区P連
内容	<p>eco 実験パフォーマンスショー</p> <p>環境問題や防災についてかみ砕いた言葉・表現で幼児から高齢者の方が同じ会場でどの世代でも楽しみ、学べるように構成されたパフォーマンス。</p> <p>らんま先生オリジナルの教材を使い、先生の活動についての紹介や、ecoについての説明など、ジャグリングのパフォーマンスを用いた実験で、環境や防災について、楽しく学べるように設定した。</p>
研修のねらい	<p>環境問題や防災については、子供たちは授業で学ぶ機会があるが、家庭でじっくり話す時間を持つ機会が少なく、内容についてもどうしても難しく感じてしまう人がほとんどだと感じる。</p> <p>今回の研修を通じ、親子で一緒に楽しく学び、少しでも興味を持ってもらい、家庭でも話をするきっかけになればと考える。</p>
成果と課題	<p>子供や保護者も舞台上上がって会場と一体となって楽しい雰囲気 で1時間があったという間に過ぎていき、参加された方からは、とても楽しかったとの声をたくさんいただいた。</p> <p>とてもおしゃべりが上手な先生のお陰で、参加者もスタッフも楽しく学べたことはとてもよかった。「もう一度見たい!」という声も多く、主催PTAとしてはうれしい結果となった。課題としては、前日に準備をした為、土日両方外向くスタッフもおり、当日の朝に準備、午後に講演会でもよかったのでは、という声もあった。次回への検討課題である。</p>

灘区小学校PTA連合会

「保護者と子供の情報モラル&セキュリティ」

講師：山本 由里子

(ファミリーライフ向上研究所 代表)

開催日時	平成 28 年 11 月 10 日 (木) 10:00~12:00
会場	神戸市立福住小学校 体育館
参加者	250 人 (P・地域・学校)
配布物	案内文書。チラシ 1,000 部 当日資料 330 部 アンケート 330 部 ポスター 85 部
他助成金	区 P 連
内容	<p>子供だけでなく、保護者がネット・スマホを楽しく便利に使うためにはどうすればいいのでしょうか。</p> <p>ネットの楽しさや便利さと同時に、個人情報の漏えいや、詐欺、事件に巻き込まれるような危険性、ネットいじめ、ネット依存、モラル等を中心に実例を紹介していただいた。</p> <p>スマホや SNS の実際の設定方法、親子で一緒に考えてほしいルール表、チェックシートの記入等を行いながらわかりやすくお話していただいた。</p>
研修のねらい	<p>メディアでも取り上げられることの多いインターネット、スマートフォンのセキュリティであるが、実際に対策を行っている保護者は多くはないと考える。</p> <p>今回の講演で、情報モラル、セキュリティについて正しく理解していただくことにより、実際に親子で話し合う時間を持っていただき、家族が安全にインターネット、スマートフォンを利用できることを願っている。</p>
成果と課題	<p>大人が情報モラル・セキュリティについて正しく理解し、適切に子供たちに伝えることが大切なのだと改めて教えていただいた。</p> <p>「分かりやすい講演だった」「今日自分が理解できたことを、丁寧に子供に伝えていきたい」という声をいただく一方で、すでに理解が進んだ受講者にとっては物足りなく感じたという方もおられたようである。具体的対策についてのお話が多ければ、そのような受講者にも対応できたかもしれないと感じた。</p>

中央区小学校PTA連合会

「子供の気持ち、親の気持ち」

講師：原坂 一郎

(KASA | 子供研究所 所長 子供コンサルタント)

開催日時	平成 28 年 11 月 16 日 (木) 10:00~12:00
会 場	神戸市立上筒井小学校 生活科ルーム
配布物	案内文書・チラシ 各校 1 部 当日資料 60 部
他助成金	なし

内 容	神戸生まれ神戸育ちで神戸初の男性保育士。23 年間に渡り 6 か所の保育所業務を経て、やがてその卓越した保育技術でスーパー保育士の異名を取り、現在は子供コンサルタントとしてその活躍の場を全国へと拡大。講演、執筆活動、各メディア出演と多忙な毎日を送る 2 男 1 女の父でもある原坂一郎氏による 1 時間程度の講演の後、参加者から子育てについての質疑応答時間を 20 分ほど設けた。
-----	--

研修のねらい	3 児の父親でもあり、PTA 会長の経験を持つスーパー保育士としても有名な原坂一郎氏を講師に迎え、わが子の通う小学校のみならず地域での活動に日々ご尽力いただいている PTA 役員の皆様に向け、講演会をしていただく。 親と子の相互理解を深めるヒントや地域の子供たちとのコミュニケーションに役立つエピソードを伺うことで、PTA 役員の皆様の、子供たちとの前向きな関わりを支援したいと考える。
--------	--

成果と課題	原坂氏より、子供の気持ち、親の気持ちについてお話しいただき、親と子のコミュニケーションの大切さや子供の上手な誉め方や叱り方をご講演いただいた。 子供は形が小さいだけで、ひとりの心を持った人間であるということに再認識できたように思えた。子供に対しての効果的な叱り方やほめ方、子供を認めることの大切さも教えていただいた。 子育てを楽しむことの大切さを、改めて見直す機会となった。
-------	---

兵庫区小学校PTA連合会

「兵庫区の歴史」

講師：田辺 真人

(歴史家・園田学園女子大学名誉教授)

開催日時
会場
参加者
配布物
他助成金

平成28年 11月15日(火) 10:00~12:00
神戸市立兵庫中学校 体育館
169人(P・学校)
当日資料300部
(兵庫区中学校PTA連合会と合同開催)

内 容

兵庫県神戸市生まれで、県立兵庫高等学校から関西学院大学文学部史学科を卒業され、現在は園田学園女子大学名誉教授である同氏を弁士としてお招きし、郷土出身者ならではの兵庫区の奥深い歴史を中心にご講演いただく。

特にその内容は「神戸まちと歴史の研究会」や「神戸歴史クラブ」などの各会長を務める中での経験を踏まえた、これまでにない兵庫区の1000年以上もある歴史を学べる素晴らしい話である。

田辺氏による講演は、主にこの兵庫区を中心とした神戸の町の歴史を平清盛以前の奈良時代までさかのぼった、関西でも屈指の史学者である豊富な知識をベースとした重厚なものである上に、テレビやラジオにおいての多彩なご経験を基にしたユーモアあふれるものだった。

その講演から学んだことを各家庭の中で共有することで、子供たちがこの兵庫区に興味を持ち、深く知ることによってその地域愛・愛校心を育み、ひいては将来の兵庫区を背負う人材の育成を目指してもらえよう参加者に呼びかけた。このように今回の講演の趣旨・テーマの設定についても共通理解を図った。

研修のねらい

神戸市兵庫区(同区東山小学校)出身の田辺氏より私たちの住む兵庫区の歴史をお話しいただき、より詳しい郷土愛をはぐくんでもらう機会にしてもらいたい。

また、その話を各ご家庭で共有していただくことにより、自分たちが暮らす兵庫区が、歴史ある素晴らしい街であることを再認識していただき、ひいては子供たちの地元意識の育成、未来の兵庫区を担う心を芽生えさせてほしい。

成果と課題

今回の研修は、少子化の進む同区において、区中学校PTA連合会との共催で行った。このような経験は、これまでの区小学校PTA連合会単独と違い、講演のテーマを小中の保護者が納得できる内容で、さらに同区ならではの講演を行うことを主目的とした。当初はその目的が高い壁となるかと思われたが、スタッフも合同ということで幅広い人材が揃い、その人脈から田辺氏という神戸という枠を超えて活躍される講師をお招きすることもでき、来年度からの研修会においてさらに飛躍発展が望めるものができたのではないかと思う。次回は「小中」という枠にもとらわれず、さらに他校種と連携することができればと考えている。

北区小学校PTA連合会

「夢の力・いのちの輝き！」

～私は子供達の夢を叶えるための「種まきおばさん」～

講師：大野 寿子

(メイク・ア・ウィッシュオブ ジャパン理事)

開催日時	平成 28 年 11 月 18 日 (金) 9:30~12:00
会 場	しあわせの村研修館 (ホール)
参 加 者	145 人 (P・学校)
配 布 物	案内文書・チラシ 200 部 当日資料 200 部 アンケート 150 部
他助成金	区P連

内 容	難病の子供の夢を叶えるプロジェクトで、夢を持った子供たちの輝きや生きる力のすばらしさを学ぶ。
-----	--

研修のねらい	夢に向かう子供や、応援する人たちのパワーの話を聞いて、今の自分や子供たちをもう一度見つめ直し、前向きに日々を歩んでいけるようなヒントになればと考える。 難病の子供に夢を叶えるプロジェクトで、夢を持った子供たちの輝きや生きる力のすばらしさを学ぶ。
--------	---

成果と課題	夢に向かう子供たちや、応援する周りの人々の生き方のパワーあふれる話を聞いて、今の自分自身や、自分の周りの子供たちの姿をもう一度見つめ直し、前向きに生きることができるよう、日々の過ごし方を考える良いきっかけとなった。
-------	---

北神区小学校PTA連合会

「命って重い！子供ってすごい！」
～阪神大震災で子供が教えてくれた沢山のこと～

講師：矢崎 由美子

(タレント・骨髓バンクボランティア・阪神淡路大震災の語り部)

開催日時	平成 28 年 10 月 11 日 (火) 10:00~11:30
会 場	北神区民センター ありまホール
参 加 者	160 人～ (P・学校)
配 布 物	案内文書。チラシ 300 部 アンケート 300 部
他助成金	区 P 連

内 容	<ol style="list-style-type: none">1. 挨拶 (北神区小 P 連会長)2. 講演 矢崎 由美子氏3. 花束贈呈4. 挨拶 (北神区代表校長)
-----	--

研修のねらい	近年、ごく身近にも起こり得る出来事となっている「大震災」「弱者虐待」「いじめ」「自死」……。命にまつわる諸課題について、皆が傍観者とならずに考えを深めていきたい。
--------	---

成果と課題	<p>「知らないことを学べ、且つ感動させてもらった。」</p> <p>「自分の知らないところでとても悲しい現実があったことを知ることができた」「今日学んだ話を、子供たちや知人にも伝えたいと思う」「震災の実体験を聞く貴重な体験であった」などテーマ、話題が良かったとの声が多数あった。</p> <p>課題は区 P 連会長会内での理解や協力体制の構築が不十分で参加人数が目標に達しなかったことから、協力的なところとそうでないところの差があったようだ。今後の研修会を開催する意義を問われる形となった。</p>
-------	--

長田区小学校PTA連合会

「あ～よかったな あなたがいて わたし大好き あなた大好き」

講師：仲島 正教
(教育サポーター)

開催日時	平成 28 年 10 月 13 日 (木) 10:30~12:00
会 場	ふたば学舎 (神戸市立地域人材支援センター)
参 加 者	52 人 (P)
配 布 物	案内文書 1200 部 当日資料 80 部
他助成金	区P連

内 容	<p>子育て＝人権教育であるという理念から、子育ての中での親の姿、スキンシップの重要性を説く。</p> <p>そこから、自尊感情を養うことで、他者に対しても優しくなれる。家庭・地域・学校という場で、出会いがあり、気づきがあり、広がり生まれる。子供の未来への応援団としての大人のあり方を学んだ。</p>
-----	--

研修のねらい	<p>教師としても長いキャリアを持つ講師を招いて、明るく楽しい話の中で「人と人」「つながりと感情」というものを参加者それぞれに再認識してもらいたい。また、「子育て＝人権教育」であること、すなわち子育ての大切さを、家庭内のみならず、地域まで拡大してとらえてもらいたい。各自のPTA活動の向上を目指してもらいたい。</p>
--------	---

成果と課題	<p>親であっても先生であっても、子育て＝人権教育であるということを念頭に行動すべき、ということが分かった。仲島先生の人柄とお話で、元気をいただいたので、その気持ちを来場者は持ち帰ることができたと思う。惜しいのは、先生の人気度に任せて、告知方法がチラシだけとなり、結果として参加者が少なかったこと。今後は工夫が必要だと考える。</p>
-------	---

須磨区小学校PTA連合会

「つながり」から考える子育て

講師：田中 聡

(神戸親和女子大学発達教育学部児童教育学科 准教授)

開催日時	平成 28 年 11 月 16 日 (水) 10:00~12:00
会 場	ピフレホール (新長田区民ホール)
参加者	263 人 (P・学校)
配布物	案内文書 チラシ 30 部 当日資料 400 部
他助成金	区 P 連

内 容	<p>家族の「つながり」や地域との「つながり」が子供たちの育ちにどのように係わっているのだろうか。</p> <p>そして、子供が通う学校との「つながり」や関わりもどうなのだろうか。</p> <p>このような様々な「つながり」から子育てを見つめなおす機会となる内容。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 「つながり」というものは、いつ、どのように生まれるかは私たち次第。・ PTAから生まれるつながりは教師、親、そして子供たちと、幅が広がる。・ 親と子のつながりは、簡単に切れるものではなく、愛情は不可欠であるので、つらい時こそ寄り添ってあげることが大事。・ つながりに無駄なことなど一つもない。 一つ一つの「つながり」を大切にし、笑顔の輪がますます広がることを願っている。
-----	---

研修のねらい	<p>家族・学校、そして地域の方々との「つながり」が子供たちにとって、また親たちにとって、なくてはならないものである。</p> <p>そのような「つながり」を今一度見つめなおし、大切さを再認識して「つながり」が生むエネルギーをたくさんもらって、明日からの子育てをより良いものにしていきたい。</p>
--------	---

成果と課題	<p>講演会終了後、参加者の皆様に「つながり」は、ほんとうに大切。との声が多く寄せられた。もう一度改めて「つながり」の大切さを考える良いきっかけになった。</p> <p>質疑応答の場面でも、良いつながりへと改善していくにはどうしたらよいかなどという内容が多く、とても有意義な時間となった。</p>
-------	--

垂水区小学校PTA連合会

平成28年度 垂水区小学校PTA連合会 全体研修会「家族の絆」

講師：松本 隆博
(シンガーソングライター)

開催日時	平成28年 12月9日(金) 10:00~12:00
会場	神戸市立垂水区勤労市民センター 大ホール(レバンテホール)
参加者	550人(P)
配布物	プログラム550部
他助成金	区P連
内容	<p>家族をテーマとした講演会</p> <p>日々の多忙な生活の中で、試行錯誤しながら子育てに励んでいる小学校の保護者を対象に、講師自身の子供の頃のエピソードを盛り込んだ歌とトークを交えながら「家族の絆」をテーマとした講演会を行う。</p> <p>子供たちだけでなく、大人にとっても一番の安らぎの場であるべき家庭の大切さを見つめ直すとともに家族の絆の大切さに気付く場とする。</p>
研修のねらい	<p>本来、子供にとって一番の安らぎの場である家庭の大切さを見つめ直すとともに、家族の絆の大切さにも気づく場とする。</p>
成果と課題	<p>親の気持ち、子供の気持ちの両方が理解できる今の時期だからこそ、多くの方に共感していただける講演会になったのではないかと思う。</p> <p>家族の絆、親子の絆はいつの時代も変わらぬ普遍的なものであり、これから思春期を迎える小学校高学年や中学生にもぜひ聴かせたい内容であった。</p> <p>「笑顔」・「素直」・「感謝」の3つを忘れず、子供と大人が日々向かい合える家庭が増えていけばと思う。</p>

西区小学校PTA連合会

市P助成は受けずに開催

東灘区公立中学校PTA連合会

「夢に向かって」

講師：小林 祐梨子

(北京オリンピック2008 陸上日本代表)

開催日時	平成28年11月22日(火) 10:00~11:30
会場	神戸市立御影中学校 体育館
参加者	150人(P・学校)
配布物	案内文書・チラシ 9000部
他助成金	区P連

内 容 オリンピックや世界選手権出場経験を持つ、元中距離ランナーの小林氏による講演会。

小林氏のアスリートとしての体験談や、その中で学んだ「夢や目標を持ち続けることの大切さ」を聞く。(約1時間15分)

小林氏の陸上を始めるきっかけとなった幼少期から現役時代までのエピソードを交え、子育て世代の保護者が子供と接する上で大切にしたい「夢」「目標」「指導法」「指導者・家族との絆」などの観点から講演いただいた。夢を持ち続け目標へ向けての取り組みや、子供本人が行きたい方向を自分自身で考え、挑戦できるように導き自主性を育てる指導“Coach”の大切さについてなど、参加者と共有した。

研修のねらい 「夢と目標」をテーマにした小林氏の講演会を聞くことにより、保護者が、これから様々な経験をして夢に向かって成長していく子供たちの良き応援者となれるよう、学び、考える機会とする。また、講演会に参加することで、保護者自身も自分の夢や目標を再確認し、心のエネルギーを得ることができるようになりたい。

成果と課題 子供への指導法など振り返り考える機会となっただけでなく、参加した保護者が自分自身の夢や目標を再確認する機会となっただけではないかを感じる。参加した保護者からは「さっそく役立ちそう」「元気をもらえた」「参加してよかった」などの反応がうかがえた。開催にあたり、当初参加申し込み人数が少なく、動員の難しさを感じた。講演内容が非常に良かっただけに今後は告知の方法や開催場所・時間などに今後検討・工夫が必要だと感じた。

灘区中学校PTA連合会

思春期の子供たちとの向きあい方

講師：服部 祥子
(精神科医・元頌栄短期大学 学長)

開催日時	平成 28 年 11 月 21 日 (月) 10:00~12:00
会 場	神戸市立長峰中学校 講堂
参加者	85 人 (P・地域・学校)
配布物	案内文書・チラシ 1000 部 当日資料 90 部 アンケート 90 部
他助成金	なし

内 容	元頌栄短期大学 学長、大阪人間科学大学 名誉教授、精神科医である服部祥子氏の講演会 (90 分)。精神科医として長年思春期の子供たちと関わってきた中で見えてきた、子供たちとの向きあい方、心身面の発達との関係についてお話しいただいた。また、2 人の子供を育てた経験も交えて、親と子のあり方についてなど大変心温まる講演であった。
-----	--

研修のねらい	「思春期の子供たちとの向き合い方」は、中学生の子供を持つ保護者にとって一番知りたいことではないだろうか。実際に、その方法や具体的な事例などを挙げての講演は中学生の保護者のみならず、これから思春期を迎える小学生の保護者や、彼らと関わっていく地域の方々等、多くの方にとっても有益な情報となると思われる。
--------	---

成果と課題	親として、地域で子供たちと関わっていく大人として、念頭に置くべき様々な事柄、反抗期の子供へのやり過ごし方、現代社会を生きていくうえで避けて通れない現状など、日ごろ答えのない問いと向き合っている親たちにとって、一筋の光となった。 日程が月曜日の午前中で、参加しづらい方も多かったのではないかと。
-------	---

中央区中学校PTA連合会

「あきらめない心」

講師：伊藤 真波（元看護師・パラリンピック出場）

開催日時	平成28年11月19日（土）10:00～11:30
会場	神戸市立葺合中学校
参加者	130人（P・学校）
配布物	案内文書・チラシ2500部 当日資料150部
他助成金	区P連

内 容	<p>元看護師であり、パラリンピック出場選手の伊藤氏による講演会。 （1時間30分程度）</p> <p>DVD・講話・バイオリン演奏をしていただき、伊藤氏の生い立ち、 事故、看護師時代、パラリンピック出場、そして出産、子育てを通し てあきらめない心と親の愛情、家族の支えの大切さを講演していただ いた。</p> <p>講演内容を単位PTA役員会で報告し、会員へも伝えた。</p>
-----	---

研修のねらい	<p>交通事故で右腕を切断するも、看護師になる夢を実現し、水泳競技 で北京とロンドンオリンピックに出場し、入賞を果たした伊藤氏の講 演を通して、親からの愛情、家族の支えの大切さを再認識する。また、 何事にもあきらめずに取り組むことが、自分を成長させるということ を親子での会話の題材にしてもらいたい。</p>
--------	--

成果と課題	<p>講演の内容から、交通事故から看護師になるという夢を実現するとい う強い意志と取り組みについて、そして伊藤氏を支える家族を通し て「あきらめない心」と親からの愛情、家族の支えの大切さを再認識 することができた。</p> <p>当日の講師との打ち合わせ時間が短く、心配したが無事終わること ができた。</p>
-------	---

兵庫区中学校PTA連合会

兵庫区の歴史」

講師：田辺 真人

(歴史家・園田学園女子大学名誉教授)

開催日時	平成28年 11月15日(火) 10:00~12:00
会場	神戸市立兵庫中学校 体育館
参加者	169人(P・地域・学校)
配布物	当日資料 350部
他助成金	区P連(兵庫区小学校PTA連合会と合同開催)

内容	<p>兵庫県神戸市生まれで、県立兵庫高等学校から関西学院大学文学部史学科を卒業され、現在は園田学園女子大学名誉教授である同氏を弁士としてお招きし、郷土出身者ならではの兵庫区の奥深い歴史を中心にご講演いただく。</p> <p>特にその内容は「神戸まちと歴史の研究会」や「神戸歴史クラブ」などの各会長を務める中での経験を踏まえた、これまでにない兵庫区の1000年以上もある歴史を学べる素晴らしい話をしていただく。</p>
----	--

研修のねらい	<p>神戸市兵庫区(同区東山小学校)出身の田辺氏より私たちの住む兵庫区の歴史をお話しいただき、より詳しい郷土愛をはぐくんでもらう機会にしてみたい。</p> <p>また、その話を各ご家庭で共有していただくことにより、自分たちが暮らす兵庫区が、歴史ある素晴らしい街であることを再認識していただき、しいては子供たちの地元意識の育成、未来の兵庫区を担う心を芽生えさせてほしい。</p>
--------	--

成果と課題	<p>講演は、主に兵庫区を中心とした神戸の町の歴史を、平清盛以前の奈良時代にまでさかのぼったユーモアあふれるテンポの良いものだった。参加者にも馴染みのある地名の由来などは非常に関心のある内容であったようで、熱心にメモを取る姿も多く見られた。この講演から学んだことを各家庭の中で共有していただくことで、子供たちがこの兵庫区に興味を持ち、深く知ることによって、地域愛を育み、しいては、将来の兵庫区を担う人材の育成を目指していただけるよう、参加者に呼びかけ、今回の講演会の趣旨、テーマを共有できた。</p> <p>まず、兵庫区中P連として講演会を開催すると、近年は参加者の確保に困窮しており、開催自体に疑問を感じる状態であった。少子化も進み、予算も厳しいため、小学校PTA連合会と共催で開催することとなった。講演のテーマが、小中の子供たちの保護者が共に納得できる内容であるか懸念されたが、スタッフも合同ということで幅広い人脈が揃い、その縁から講師、田辺氏という神戸以外でも活躍される方をお迎えすることができた。</p> <p>小中合同開催形式は、来年度以降もさらに飛躍、発展が望める研修会の基礎となったのではないかと考える。</p>
-------	---

北（南）区中学校PTA連合会

「SNSトラブルから子供たちを守るために」

講師：兵庫県警 サイバー犯罪対策課

開催日時	平成28年 9月29日（木）14：00～15：00
会場	神戸市立山田中学校 体育館
参加者	90人（P）
配布物	案内文書・チラシ500部 当日資料100部 アンケート100部
他助成金	区P連

内容

「子供たちが利用しているSNSの実態」や、「偽サイトに係る詐欺事案」などについて、最新の検挙、被害事例に基づき分かりやすく解説していただき、保護者も子供も被害防止の対処能力を身につける。

兵庫県警から本多氏にお越しいただき、サイバー犯罪の現状とその犯罪から子供たちをいかに守るかといったお話をしていただいた。

現在スマートフォンの所持は小学生にまで及んでいるが、子供たちはその危険性を知らずにSNSを使用している。ネット上で知り合った人物と会うことで犯罪に巻き込まれるケースや、自分の情報を発信することで個人を特定され狙われるケースなどがある。

研修のねらい

現在子供たちを取り巻く環境は、スマートフォン所有の低年齢化、SNS利用の拡大等、これまでにないほど大きく変化している。

研修では、警察から見たSNSの実態を知り、SNS犯罪から子供たちを守るためには保護者がどうすべきか、また、子供たちの利用するSNSについて、どう対応していくべきか、考えるきっかけとする。

成果と課題

SNSを利用して生活することが当たり前となっている現代の情報化社会において、子供たちは犯罪に巻き込まれる危険ばかりでなく、いじめの原因や携帯依存症などの問題も起こっている。今回の研修でSNSの持つ危険性を親も再認識し、その危険性の認識を子供たちと共有していく必要があると感じた。子供が今SNSで何をやり、誰とつながっているのか把握すること、情報を扱う側の意識やモラルの向上が必要であろう。

北（北）区中学校PTA連合会

「夢を語ろう」 ～親の心 子の心～

開催日時	平成 28 年 11 月 15 日（火） 15：00～18：00
会 場	神戸市北神区民センター（ありまホール）
参加者	150 人（P・地域・学校）
配布物	案内文書・チラシ 3000 部・当日資料 170 部・ディスカッションまとめ冊子 3,000 部
他助成金	なし

内 容	<p>中学生の主張大会（神戸市立中学校 PTA 連合会主催）に参加する北神地区 9 つの中学校の代表生徒が、主張作文の朗読を行い、それを受けて参加の PTA 会員によるディスカッションを行った。</p> <p>生徒の作文に優劣をつけたり、批評するのではなく、子供たちの思いがどこにあるのか、何を見ているのかを感じ取り、垣間見、さらに保護者同士で話し合うことで、我が子だけでなく、現代の中学生を理解する機会を作ろうとした。</p>
-----	--

研修のねらい	<p>中学生が「夢を語ろう」というテーマで自分の未来について自分自身の考えをまとめ、表現する機会に保護者（PTA 会員）が立ち会い、様々な考えを聞くことで、保護者の立場から中学生に対する理解を深める。</p> <p>保護者（PTA 会員）相互のディスカッションを通して、PTA として、今後考えなければならないこと、知っておきたいことについて意見交換し、それぞれの考えを深める。</p> <p>ディスカッションの内容をまとめ、区 PTA 全会員へ配布することで、区内の情報共有を進め、共通して研修内容を学ぶ機会と、PTA 会員の意識向上につながり、今後の PTA 活動に活かすことができる。</p>
--------	---

成果と課題	<p>中学生が、自分の未来について自分自身の考えをまとめ、表現する機会に触れ、保護者が様々な考えを聞くことで、保護者の立場から中学生に対する理解を求め保護者として今後考えて行かなければならないことや、知っておきたいこと等について意見交換し、それぞれの考えを広げることができた。</p> <p>ただ時間的に制約があったこともあり、保護者の話し合いが生徒の発表内容に対する批評に走ってしまうくらいがあったため、次回以降は話し合いの流れをしっかりと正しい方向に誘導する必要がある。</p>
-------	---

長田区中学校PTA連合会

長田区中学校PTA連合会研修会

「映画を通して伝えたい 家族の在り方」

講師：近兼 拓史

(映画監督)

開催日時	平成 28 年 11 月 18 日 (金) 15:30~17:00
会 場	ふたば学舎 (神戸市立地域人材支援センター)
参加者	40 人 (P)
配布物	案内文書・チラシ 600 部 当日資料 60 部 アンケート 60 部
他助成金	なし
内 容	<p>神戸市長田区出身の映画監督 近兼 拓史氏をお迎えし、講師として家族愛を中心とし話していただく。</p> <p>多彩な顔を持つ近兼氏が、映画を通じて伝えようとしている家族愛を研修のテーマとする。</p>
研修のねらい	<p>近兼氏の映画「たこ焼きの詩」は、関西の小さな町の団地でつましく暮らす母と子の物語である。アクシデントにも負けず、2 人にどんな結果が待っているのか、映画を通しての「親子愛」、我が町「長田」の良いところを再確認したい。</p>
成果と課題	<p>研修に来ていただいたほとんどの方から、講演内容を家に持ち帰って子供に伝えたいと、おっしゃっていただけた。幸せとは何か？全ての方が幸せと思える＝「幸福感」をわかりやすく教えていただき、とても良い内容の研修会となった。</p> <p>課題は、もう少し時間配分を考慮した内容にすべきだった事である。</p>

須磨区中学校PTA連合会

市民救命士講習（救命入門コース）

講師：須磨消防署 救急隊

開催日時	平成28年 10月25日（火）10：00～12：00
会場	神戸市立西落合中学校 体育館
参加者	70名（P・学校）
配布物	案内文書・チラシ140部 当日資料140部 アンケート75部
他助成金	なし

内容	<p>DVD視聴（30分）後、7人グループに分かれ、万が一誰かの呼吸や心臓が止まった時に必要な救命手当（AED）の使用方法（心肺蘇生法）や、救命に必要な基礎知識、防災のことを学習する。</p> <p>質疑応答のコーナーを設け、予め各校には、救命や防災に関する質問を聞いておく。</p>
----	--

研修のねらい	<p>近年、人命救助にあたり、一般市民の応急手当の重要性が増している。またAEDの普及率も上がり、緊急時に使いこなせるかどうかが必要になっている。そこで、万が一事故現場に遭遇したら、救急車が到着するまでに私たちができることや、AEDの使い方を再度確認し、実技を主体とした講習を受ける機会を設けた。</p>
--------	--

成果と課題	<p>研修会では、10月より救命の内容が少し変わり、新しい情報を伝えることができた。アンケートでは「AEDの使い方を初めて学んだ」「救命処置の大切さを実感した」「グループでの質問がしやすかった」などの意見が多くあり、実技を行ったことが非常に好評だった。実技グループは、他校と混合で編成したので、他校とのコミュニケーションも取ることができ良かったと思う。</p>
-------	--

垂水区中学校PTA連合会

「熊本・大分・東北・神戸 きずなプロジェクト」
～社会貢献活動がコミュニケーション能力を高める～

講師：又吉 健二
(流通科学大学 参与)

開催日時	平成 28 年 11 月 15 日 (火) 14:30～16:30
会 場	流通科学大学 (RYUKA HALL)
参 加 者	300 人 (P・学校)
配 布 物	案内文書・チラシ 250 部 当日資料 250 部 アンケート 250 部
他助成金	区 P 連

内 容

過去に大きな震災を経験した神戸と東北との協力で立ち上げられたプロジェクト。被災当時、全国から温かい支援を受けた街が、互いに協力し、エールを送ることで、少しでも被災者の心が和み、一歩でも前に進むことができるよう取り組んでいる活動の報告を、同大学のボランティア部の学生たちも交えて行う。

1. 開会挨拶
2. 幹事校長挨拶
3. 講師紹介
4. 講演会
5. 謝辞
6. 閉会挨拶

研修のねらい

参加者全ての方々が、又吉先生のお人柄に接し、考え方、持論等を感じていただき、共感できたならば、それを各自がアレンジし実践していけるようにする。

ねらいの一つとして、積極的にボランティアを呼び掛けている先生の「誰かのためにできることをやろう、という気持ちを持てば、他の人にも優しくなれる」という言葉にも共感してほしい。

成果と課題

参加者すべての方々が、又吉氏の人柄に接し、考え方や持論等を感じることができ、共感することができた。また多くの参加者から、それら社会貢献活動について強い関心を持ち、今置かれている自分自身を見つめ直し、自分たちのできることを見つけて、取り組むことの必要性を感じることができたとの意見をいただいた。今後のPTA活動の中でも積極的に働きかけを行い、よりPTA活動の活性化を図るための工夫をしていきたいと考えている。

西区中学校PTA連合会

親子関係を円滑にするコミュニケーション

～反抗期のタイプ別接し方～

講師：藤原 恵津子

(株) コーチ・フィオーレ代表取締役

一般社団法人日本メンタルアシスト協会代表

NPO 法人 夢プラン研究会教育担当講師

開催日時	平成 28 年 11 月 26 日 (土) 14:00～16:10
会場	神戸市立太山寺中学校
参加者	390 人 (P・地域・学校)
配布物	案内文書・チラシ 7000 部 当日資料 400 部 アンケート 400 部
他助成金	区 P 連
内容	<ol style="list-style-type: none">開会式 神戸市立西区中学校 PTA 連合会会長 あいさつよさこい演舞 神戸☆学園踊り子隊研修会 演題 「親子関係を円滑にするコミュニケーション」 講師：藤原 恵津子 (株) コーチ・フィオーレ代表取締役閉会式 神戸市立西区中学校 PTA 連合会副会長 あいさつ

人には大きく分けて 4 つのタイプ(オオカミタイプ、ウサギタイプ、ヒツジタイプ、カメタイプ)があり、資料として配布したチェックシートを使用し、自分(参加者)と子供のタイプを分類した。各タイプ別に、「どういう性格で、どう接すれば良いのか」の説明があり、講師の藤原氏自身の経験とともに、具体的なコミュニケーションの取り方を指南いただいた。1 グループ 6 名のディスカッションでは、現在の悩んでいることや上手くいっていること等を話し合い、情報交換をした。

研修のねらい	<p>人とのつながりを図っていくうえで、家庭においても社会においてもコミュニケーション力は必要不可欠なものである。</p> <p>コミュニケーション不足により様々な問題が生じている昨今、今回の研修において、コミュニケーションの重要性及び、どのようにコミュニケーションを取れば良いのかを学ぶ。</p> <p>さらに、子供たちの「意欲を引き出す」ために、親の、子供に対するコミュニケーションの取り方を研修し、子供たちの健全育成につながることをねらいとする。</p>
--------	--

成果と課題

- 講義型でなく、参加型の講演を実施したことで、同じ悩みを持つ保護者同士の交流を図ることができ、様々な情報交換ができた。
- 子供との関係・夫婦の関係・自分が属するあらゆる関係において、「コミュニケーション」の重要性を再認識できた。
- 予算の都合上、初めての研修会担当校（太山寺中学校）での開催を実施した。しかし、来年度以降も担当校での実施を継続した場合、所在地によっては交通の便も悪く、参加意欲が低下することが懸念される。

高等学校PTA連合会

今年度は高P連としての自主事業（市P協助成は受けず）

特別支援学校PTA連合会

「神戸市立特別支援学校PTA連合会シンポジウム」

～共に生きる社会を願って～

講師：前川 裕美

(音楽家 (株) Grace Note 代表取締役)

開催日時	平成 28 年 9 月 27 日 (火) 10:00~12:00
会 場	神戸市総合教育センター 10 階大ホール
参 加 者	400 人 (P・学校)
配 布 物	当日資料 400 部 アンケート 400 部
他助成金	特支P連
内 容	1. 開会・挨拶 2. 体験発表 青陽西養護学校 三原 恵子 様「個性として生きる」 友生支援学校 坂口 香 様 「いつもみんなと一緒に」 3. 助 言 青陽東養護学校 中尾 和文 校長 4. 講 演 前川 裕美 様 「夢見る力を信じて ～ともに生きる未来へ～」 5. 閉会・アンケート回収

研修のねらい	1. テーマである「共に生きる社会を願って」ノーマライゼーションの考えを広めるための啓発活動を具体的に企画、運営する。 2. 保護者の体験発表や講演を通して、子育ての悩みを共有し障がいに対する理解と共感を深める。 3. スライドショーや啓発チラシを通して神戸市の特別支援学校や子供たちを知ってもらう機会とする。
--------	---

成果と課題	・実行委員会で協力してシンポジウムを企画・運営することができた。準備や話し合いを通じて、6校の交流を深めることもできた。 ・アンケートからも体験発表と講演は好評だった。体験発表は毎回、障がいのある子を持つ親の気持ちを理解し、共感してもらえる貴重な場である。講演についても参加者全員が楽しめる内容だった。
-------	--

*この報告書に関しては、各担当者の標記を尊重しており、表現・言葉使いなどの統一性が見られない場合がありますことをご了承ください。(なお落丁等は事務局までお知らせください。)

神戸市PTA協議会おすすめの助成金

「市P協からの助成費だけでは足りない…」という区、市PTA連合会におすす
めします。

(どちらかをご利用いただくことも、3つ全ての助成を受けることもできます)

◇神戸市PTA安全教育振興会「安全教育推進活動助成」

- 安全教育振興会のお見舞金制度「PTA総合補償制度」に加入する学校園で構成された、区P、単P等の連合体が主催し、独自の企画で運営する研修。
- PTA会員対象の、身体的な健康、交通安全、けが予防などに関する研修。
(癒し的なものは除く)

以上の条件を両方とも満たすものであれば、年1回に限り、1校種、1区につき5万円まで助成いたします。(2区以上、2校種以上合同で行う場合も、5万円×区数×校種になります。) 幼Pはブロック、高P、特支Pは連P単位で1区扱いとなります。

◇こうべっ子の家庭・地域教育活動助成基金「こうべっ子の助成基金」

- 神戸市PTA協議会の会員で、単位PTA以上の構成(区P、市P連等)団体が主催、企画、運営を行う研修(イベント含む)。
- 神戸市内で、広く地域の方や、子供、PTAを対象に行う研修。

以上の条件を両方とも満たすものであれば、1団体につき100万円を上限に研修総額の80%(ただし対象経費に限る)を助成いたします。(28年度より改定要項)

上記2つにはそれぞれ申請条件等がございます。この市P協研修助成に加えてご利用をお考えの場合は、事前に下記までお気軽にご相談ください。

PTAの皆様がかわになります♪

神戸市PTA
安全教育振興会
(月曜・金曜)

360-3455

神戸市PTA協議会

360-3453

こうべっ子の
助成基金

(月曜・木曜)

360-3453